

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人金井学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	学科	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
				全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
工学部	電気電子情報工学科	電気システムコース	夜・通信	8	0	16	24	13	
		電子情報コース				16	24	13	
		電気電子コース				16	24	13	
		AI情報宇宙コース				16	24	13	
	機械工学科	機械システムコース	夜・通信			10	18	13	
		自動車システムコース				8	16	13	
	建築土木工学科	建築コース	夜・通信			58	66	13	
		土木コース				58	66	13	
	原子力技術応用工学科	原子力工学コース	夜・通信			38	44	13	
		放射線応用コース				38	44	13	
環境情報学部	環境食品応用化学科	環境化学コース	夜・通信	8	3	13	24	13	
		食品バイオコース				13	24	13	
	デザイン学科	都市デザインコース	夜・通信			95	106	13	
		メディアデザインコース				95	106	13	
	経営情報学科	経営システムコース	夜・通信			16	27	13	
		政策システムコース				18	29	13	
		情報システムコース				14	25	13	
環境学部	環境食品応用化学科	環境化学コース	夜・通信	8	3	16	27	13	
		食品バイオコース				16	27	13	
	デザイン学科	都市デザインコース	夜・通信			98	109	13	
		メディアデザインコース				98	109	13	

経営情報学部	経営情報学科	データサイエンスコース	夜・通信	8	3	31	36	13	
		経営システムコース				49	52	13	
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	スポーツ産業コース	夜・通信	8	0	24	32	13	
		地域スポーツ指導者コース				24	32	13	
		競技スポーツコース				24	32	13	
<p>(備考)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工学部電気電子情報工学科は令和7年度入学生よりコース名変更。 工学部電気電子情報工学科は令和5年度入学生より学科名称変更。(令和4年度以前入学生は電気電子工学科) 環境学部環境食品応用化学科およびデザイン学科は令和5年度入学生より学部名称変更。(令和4年度以前入学生は環境情報学部 環境食品応用化学科およびデザイン学科) 経営情報学部経営情報学科は令和5年度入学生より環境情報学部 経営情報学科を廃止し設置届により新設。 スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科は令和8年度入学生よりコース追加。 									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ 大学紹介>教育情報の公表>大学等における修学の支援に関する情報公開

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人 金井学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.kanaigakuen.ac.jp/public/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	令和7年6月4日～令和11年6月の定時評議員会終結時まで	法務
非常勤	税理士	令和7年6月4日～令和11年6月の定時評議員会終結時まで	財務
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人金井学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書の作成の過程は以下の通りである。</p> <p>①開講前年度中に教務委員会が教員向けの「シラバス作成の手引き」を作成し、全教員に配布する。</p> <p>②開講年度の科目担当教員は、手引きに従い、授業の目的、科目に関連するディプロマポリシー、学習到達目標、アクティブラーニング講義形態、関連科目、テーマ、内容運営方法等、授業に必要な事前・事後学習及びそれに必要な時間、成績評価基準および評価方法・フィードバック方法、教材、参考書、ナンバリング、実務経験のある教員の担当の有無をシラバスに明示する。</p> <p>③シラバス作成後、学務部長からの依頼に基づき、各学科主任教授等によるシラバスの記載内容、誤字脱字および学修体系等についての第三者点検を行い、不備があれば科目担当教員に差し戻す。</p> <p>④差し戻しを受けた科目担当教員は、その指摘に基づいてシラバスを修正し、シラバス作成が完了する。</p> <p>以上の手順で作成したシラバスは、インターネット上で閲覧することができるように、各年度開始時に本学ホームページに公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	大学紹介>教育情報の公表>シラバス (https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/syllabus/)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各科目の単位授与は、福井工業大学学則第12条及び福井工業大学学習規程第10条において定めており、試験・レポート等で認定する。100点を満点として60点以上が所定単位を修得したものとす。合格した科目は、秀(90点以上)優(80点以上)良(70点以上)可(60点以上)の4種類で表し、不合格の場合は、不可(60点未満)で表す。</p> <p>さらに、学生の学修成果の評価及び単位授与については、各授業レベル(シラバス)において「学修到達目標」に対する達成度をどのように測るかを明示している。具体的には、①評価種別(小テスト・レポート・試験等の評価方法)及び②割合(複数の評価方法を用いて成績評価を行う場合に、それぞれの評価方法が全体に及ぼす割合)を記載したうえで、成績評価基準を明記している。</p> <p>また、全学科において卒業年次に行う卒業論文発表では、ディプロマ・ポリシーに対応させて整備したルーブリックを用いて卒業研究の成果を評価するとともに、在学中の学修成果についても評価を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価の指標として、全学部・学科でGPA制度を導入し、履修指導や奨学生の採用基準として活用している。GPAは、「在籍中に履修した科目のGrade Point×単位数の和」を「在籍中に受講登録した科目の単位数の和」で割って算出している。</p> <p>[Grade Point：得点：100～90点=4 Point、89～80点=3 Point、79～70点=2Point、69～60点= 1Point、59点以下=0 Point]</p> <p>各学生のGPAはそれぞれの成績通知書に掲載し、学生本人以外にも保護者や指導教員が確認できるようにしている。学生本人は、学生ポータルサイトで随時確認が可能である。GPA制度の概要については、本学ホームページ「教育情報の公表」において公表している。</p> <p>添付資料：学年学部単位でのGPAの分布状況</p>													
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>大学紹介＞教育情報の公表＞学修の成果・卒業認定＞評価方法 (https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/result/)</p>												
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学部・学科単位で卒業の要件及びディプロマ・ポリシーを定め公表している。卒業の要件は以下の通りである。(福井工業大学 学則 第13条)</p> <table border="0"> <tr> <td>工学部</td> <td>教養分野：47 単位以上</td> <td>専門分野：77 単位以上</td> </tr> <tr> <td>環境学部</td> <td>教養分野：43 単位以上</td> <td>専門分野：81 単位以上</td> </tr> <tr> <td>経営情報学部</td> <td>教養分野：43 単位以上</td> <td>専門分野：81 単位以上</td> </tr> <tr> <td>スポーツ健康科学部</td> <td>教養分野：43 単位以上</td> <td>専門分野：77 単位以上</td> </tr> </table> <p>上記の所要単位数以外に4 単位以上</p> <p>4 学部ともに合計 124 単位以上を修得すること。 いずれも本学に4 年以上在学し、所定の単位を修得した者に卒業を認める。</p> <p>卒業判定においては、大学事務局学務課にて作成した判定資料を教務委員会及び各学科主任教授が確認した後、学長、副学長、学長補佐、学務部長、各センター長、事務局長、事務局次長で構成される大学の最高意思決定機関である大学運営協議会にて審議され、基準を満たしている場合に卒業と判定される。その判定結果については、学校教育法第93条に基づき、学長が教授会に意見を求めた後、学長が卒業者を決定する。</p>		工学部	教養分野：47 単位以上	専門分野：77 単位以上	環境学部	教養分野：43 単位以上	専門分野：81 単位以上	経営情報学部	教養分野：43 単位以上	専門分野：81 単位以上	スポーツ健康科学部	教養分野：43 単位以上	専門分野：77 単位以上
工学部	教養分野：47 単位以上	専門分野：77 単位以上											
環境学部	教養分野：43 単位以上	専門分野：81 単位以上											
経営情報学部	教養分野：43 単位以上	専門分野：81 単位以上											
スポーツ健康科学部	教養分野：43 単位以上	専門分野：77 単位以上											
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>大学紹介＞教育情報の公表＞学修の成果・卒業認定 (https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/result/)</p>												

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福井工業大学
設置者名	学校法人金井学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	金井学園ホームページ>財務報告 https://www.kanaigakuen.jp/financial/
収支計算書又は損益計算書	金井学園ホームページ>財務報告 https://www.kanaigakuen.jp/financial/
財産目録	金井学園ホームページ>財務報告 https://www.kanaigakuen.jp/financial/
事業報告書	金井学園ホームページ>財務報告 https://www.kanaigakuen.jp/financial/
監事による監査報告(書)	金井学園ホームページ>財務報告 https://www.kanaigakuen.jp/financial/

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 本学ホームページ 大学紹介>教育情報の公表>自己点検・評価/大学機関別認証評価 https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/evaluation/

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

<p>学部等名 工学部、環境学部、経営情報学部、スポーツ健康科学部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ＞大学紹介＞大学概要＞使命・目的/人材の養成及び教育研究上の目的 https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/about/purpose/）</p>
<p>（概要）</p> <p>学校法人金井学園が設置する福井工業大学は、本学園建学の精神に基づいて、質実剛健な気風と、愛国心の涵養に努め、人格円満にして徳性の高い社会人を育成するとともに、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い高い教養と工学に関する高度な専門知識・技術を身につけた人材を育成することを使命とし、教育研究活動を通して地域社会の発展に寄与するとともに広く人類社会の福祉に貢献することを目的とする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ＞大学紹介＞教育情報の公表＞3つのポリシー(学部) https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/policies/）</p>
<p>（概要）</p> <p>工学部は、国際・地域社会で活躍する健全な人格を身に付けた実践的な技術者を育成し、社会に送り出すことを通して、社会の発展と繁栄に寄与することを目的としています。</p> <p>環境学部は、自然環境、都市環境や住環境、食品、生活スタイル、デザインなどをキーワードとする広義の「環境学」の視点で、地球規模から地域までの様々なレベルで新たな価値観を生み出すことのできる豊かな創造性と人間性を兼ね備えた人材を育成し、社会に送り出すことを通して、社会の発展と繁栄に寄与することを目的としています。</p> <p>経営情報学部では、データサイエンス・ICT、経営・経済に関する広範な知識と豊かな創造性を備え、企業や現代社会が直面する課題の解決に関係者と協調しながら能動的に取り組むとともに、今日の社会インフラを支える高度情報通信技術、ならびに AI を駆使して新たなビジネスモデルを構築できる人材を育成することで、豊かな未来に貢献することを目的としています。</p> <p>スポーツ健康科学部は、国内外のスポーツおよび健康関連分野で活躍する豊かな創造性と人間性を兼ね備えた指導者・スタッフを育成し、社会に送り出すことを通して、社会の発展と繁栄に寄与することを目的としています。</p> <p>この人材育成のための教養分野と専門分野とを体系化した学士課程の教育の中で、各分野における科目の学習到達目標を達成して卒業要件を充足し、DP1 から DP5 の資質・能力を身に付けた者に卒業を認定し、学士の学位を授与します。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ＞大学紹介＞教育情報の公表＞3つのポリシー(学部) https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/policies/）</p>
<p>（概要）</p> <p>各学部学科のディプロマ・ポリシーに掲げた学修目標と人材育成を達成するために、教養分野及び専門分野から成る体系的なカリキュラムを構築しています。教養分野では豊かな人間性と社会性を育むための幅広い知識と教養を身に付け、工学部の専門分野では社会を取り巻く諸問題を論理的な思考力と総合的な判断力で解決するための工学の専門知識・技術、環境学部の専門分野では環境に関する今日の諸課題を論理的な思考力と総合的な判断力で解決するための専門知識・技術、経営情報学部の専門分野では、経営と情報に関する今日の諸課題を論理的な思考力と総合的な判断力で解決するための専門知識・技術、スポーツ健康科学部の専門分野では、スポーツと健康に関する諸課題を論理的な思考力と総合的な判断力で解決するための専門知識・技術を修得します。</p> <p>学修の順次性や系統性に従って1年次から4年次まで配当された教養分野科目および専</p>

門分野科目の中から、各科目とディプロマ・ポリシーとの関連性を可視化したカリキュラム・ツリー等を基に学生自らが学修計画を立てて科目を履修し、単位を修得してディプロマ・ポリシーで定められた資質・能力を身に付けます。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：本学ホームページ>大学紹介>教育情報の公表>3つのポリシー(学部) https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/policies/ および入学試験要項(入手方法：大学への資料請求))</p>
<p>(概要) 学校法人金井学園の「建学の精神」および本学の「教育方針」に基づき、学部・学科のディプロマ・ポリシーに定めた学修目標と人材育成を達成できる潜在的な能力を有した学生を求めて、学科毎にアドミッション・ポリシーを定めています。この方針にふさわしい人材を受け入れるために、本学では各種総合型選抜、各種学校推薦型選抜、一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜など複数の選抜方式をとっています。これらの選抜によって多様な学生を受け入れ、本学の特色ある教育研究を通して、持続可能な社会の発展に主体的かつ能動的に貢献することのできる豊かな人間性と創造性および高い倫理観を兼ね備えた人材を育成します。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページ>大学紹介>大学概要>基本組織/主要役職 (https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/about/system/)</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数(本務者)							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
工学部	—	33人	4人	0人	0人	0人	37人
環境学部	—	11人	2人	1人	0人	0人	14人
環境情報学部	—	2人	0人	0人	0人	0人	2人
経営情報学部	—	7人	3人	1人	0人	0人	11人
スポーツ健康科学部	—	9人	2人	1人	0人	0人	12人
基盤教育機構	—	3人	2人	6人	5人	0人	16人
b. 教員数(兼務者)							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		76人				76人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学ホームページ「教育研究業績情報」 (https://futredb.fukui-ut.ac.jp/search?m=home&l=ja)					
c. FD(ファカルティ・ディベロップメント)の状況(任意記載事項)							
新任教員のための研修会、FD研修会、授業公開、オフィスアワー、授業評価アンケート等の実施							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
工学部	230人	225人	97.8%	960人	873人	90.9%	若干名	0人
環境情報学部	人	人	%	人	15人	%		0人
環境学部	80人	71人	88.8%	330人	267人	80.9%	若干名	0人
経営情報学部	100人	121人	121.0%	390人	441人	113.1%	若干名	0人
スポーツ健康 科学部	90人	102人	113.3%	320人	344人	107.5%	若干名	0人
合計	500人	519人	103.8%	2,000人	1,940人	97.0%	若干名	0人

(備考)
環境情報学部は令和5年度に環境学部へ改称、環境食品応用化学科とデザイン学科の2学科体制となり、経営情報学部は令和5年度に設置（届出）された（環境情報科学部 経営情報学科の学部昇格）

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
工学部	231人 (100%)	18人 (7.8%)	204人 (88.3%)	7人 (3.0%)
環境情報学部	155人 (100%)	13人 (8.4%)	133人 (85.8%)	9人 (5.8%)
スポーツ健康 科学部	63人 (100%)	1人 (1.6%)	62人 (98.4%)	0人 (0%)
合計	449人 (100%)	32人 (7.1%)	399人 (88.9%)	16人 (3.6%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(備考)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>年間の授業計画、必要な準備学習（予習・復習）、課題（レポートや試験等）のフィードバックの方法、学修到達目標の明示、成績評価基準および評価方法、ディプロマ・ポリシーや他の科目との関連、ナンバリング、実務経験のある教員が担当する科目については、シラバスにて学生に明示している。シラバスは、各年度開始時に本学ホームページに公表し、インターネット上で閲覧できるようにしている。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各科目の単位授与は、福井工業大学学則第 12 条及び福井工業大学学習規程第 10 条において定めており、試験・レポート等で認定する。100 点を満点として 60 点以上が所定単位を修得したものとす。合格した科目は、秀（90 点以上）優（80 点以上）良（70 点以上）可（60 点以上）の 4 種類で表し、不合格の場合は、不可（60 点未満）で表す。</p> <p>さらに、学生の学修成果の評価及び単位授与について、各授業レベル（シラバス）において「学修到達目標」に対する達成度をどのように測るかを明示している。具体的には、①評価種別（小テスト・レポート・試験等の評価方法）及び②割合（複数の評価方法を用いて成績評価を行う場合に、それぞれの評価方法が全体に及ぼす割合）を記載したうえで、成績評価基準を明記している。</p> <p>また、全学科において卒業年次に行う卒業論文発表では、ディプロマ・ポリシーに対応させて整備したルーブリックを用いて卒業研究の成果を評価するとともに、在学中の学修成果についても評価を行っている。</p>

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
工学部	電気電子情報工学科	124 単位	○・無	48 単位
	機 械 工 学 科	124 単位	○・無	48 単位
	建 築 土 木 工 学 科	124 単位	○・無	48 単位
	原子力技術応用工学科	124 単位	○・無	48 単位
環境学部	環境食品応用化学科	124 単位	○・無	48 単位
	デ ザ イ ン 学 科	124 単位	○・無	48 単位
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	124 単位	○・無	48 単位
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	124 単位	○・無	48 単位
GPA の活用状況 (任意記載事項)		<p>公表方法：本学ホームページ>大学紹介>教育情報の公表>学修の成果・卒業認定 (https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/result/)</p> <p>GPA 値の低い学生については、セメスタ終了後、担当教員が学生面談や三者面談等を行っている。また、本学奨学金の支給基準として、一定以上の GPA 値が求められている。</p> <p>CAP 制として累積 GPA が 3.80 以上の学生は、年間の受講登録単位が上限 52 単位まで登録することができる。</p>		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： 本学ホームページ>大学紹介>キャンパス紹介 (https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/campus)

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
工学部	電気電子 情報工学科	1,020,000円	250,000円	440,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)
	機械工学科	1,020,000円	250,000円	440,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)
	建築土木 工学科	1,020,000円	250,000円	440,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)
	原子力技 術応用工 学科	1,020,000円	250,000円	440,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)
環境学部	環境食品 応用化学 科	1,020,000円	250,000円	440,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)
	デザイン 学科	1,020,000円	250,000円	440,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)
経営情報 学部	経営情報 学科	1,020,000円	250,000円	440,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)
スポーツ 健康科学 部	スポーツ 健康科学 科	970,000円	250,000円	460,000円	その他内訳：施設充実費、実験 実習費、厚生衛生費(冷房費含 む)

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の理解度に応じた習熟度別クラス編成の導入や学習支援室を設置し、補完教育を実施している。その他に担当教員制度を取り入れ、卒業に向けた修学指導や障がいのある学生への修学支援も取り組んでおり、合理的配慮の提供を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 就職支援プログラムとして、入学直後から進路決定まで、就職ガイダンスや学内合同企業研究会など、様々な取り組みを実施している。また、各学科の就職担当教員とキャリアセンター 就職支援課の学科担当職員とが連携して学生の進路選択をサポートしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生生活支援室を設置し、常勤職員2名(保健師・公認心理師、特別支援教育士)と、非常勤カウンセラー2名(社会福祉士・公認心理師、臨床心理士・公認心理師)、さらに教員カウンセラー10名(臨床心理士資格保有者1名を含む)で構成している。同室では障害学生支援にも対応しており、修学支援申請の窓口としての機能も担っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ＞大学紹介＞教育情報の公表
(<https://www.fukui-ut.ac.jp/introduction/public/>)

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F118310105628
学校名 (〇〇大学 等)	福井工業大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人金井学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		485人（ 289）人	482人（ 275）人	502人（ 278）人
内 訳	第Ⅰ区分	97人	92人	
	（うち多子世帯）	（ 26人）	（ 21人）	
	第Ⅱ区分	50人	48人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅲ区分	35人	40人	
	（うち多子世帯）	（ 一人）	（ 一人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	61人	67人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	65人	58人	
	区分外（多子世帯）	177人	177人	
家計急変による 支援対象者（年間）				一人（ 0）人
合計（年間）				503人（ 278）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	—	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	—	人	人
計	12人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	—
年間計	—
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	—	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	—	人	人
GPA等が下位4分の1	82人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	82人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。